

ワールドカップ関連情報

2014 年 5 月 16 日付（W杯まであと 27 日）

ネグロ河増水

マナウス市街地（図 1 参照）は、アマゾン河の本流にあたるソリモンエス河とその支流であるネグロ河の合流点から、ネグロ河の約 10 km 上流にあるマナウス港を中心に広がっています。

ネグロ河の水位は年間を通じて約 10 m 上下します。水位が最も高くなるのは雨季から乾季に移行する 6 月頃であるため、ワールドカップの開催月は水位が最も高くなると予想されます。

観測史上最も水位が高かったのは 2012 年 5 月 29 日の 29.97 m でマナウス市のセントロ地区では冠水する道路や、浸水被害を受ける住居、商店が数多くみられました。今年に関しては、毎年この時期の水位を注視してきたネグロ河岸に近い商店主は平年並みと予想していますが（5 月 15 日当地主要紙「ア・クリチカ」より）、ブラジル鉱物資源研究所（CPRM）は、最高水位を記録した 2012 年ほどではないが例年よりも水位が高くなり（最高 29.49 m）被害も大きくなると警報を発しました。また、マナウス市市民防衛局も、観光スポットであるマナウス港やアドルフォ・リスボア市場周辺まで浸水する可能性を指摘しています。

水位は最高位に達した後すぐに下がるわけではありません。2012 年の場合は、警戒水位の 28.94 m より高いレベルが 71 日間続き、今年は 20～30 日間続くと予想されています。その間、汚染された水による伝染病も流行る恐れがあるため、衛生面における注意が必要です。

マナウス港の水位（観測開始 1903 年）

最高水位（2012 年 5 月 29 日）	29.97 m
最低水位（2010 年 10 月 24 日）	13.63 m
平均最低水位	17.54 m
平均水位	23.38 m
平均最高水位	27.85 m
警報の発表基準水位	28.94 m
2013 年最高水位	29.33 m
2014 年最高水位予想（2014 年 4 月）	28.84～29.44 m
2014 年 5 月 15 日時点での水位	28.71 m

出典：ブラジル鉱物資源研究所（CPRM）

(図 1)



(注) 記事はブラジル主要メディア及び公的機関ホームページからの公開情報を当館の責任でまとめたものです。